

まさに戦前の憲法と思われる天皇元首
国防軍にして海外で戦争？



中日新聞の論説委員などしている飯尾歩氏と元市長の庭瀬健太郎氏のお二人より憲法改正についての講演

を聞く機会を得た。自由民主党は平成24年10月、80頁にも及ぶ「日本国憲法改正草案Q & A」を発行している。それは現行憲法の全ての条項を見直し、全体で11章、110か条の構成。前文はすべて書き換えている。その中で、前文の日本国民という出だしが日本国はとなり、第1条では**天皇は日本国の象徴が元首となる**。第9条の2では内閣総理大臣を最高指揮官とする国防軍を保持する。3では国防軍は・・・**国際社会の平和と安全を確保するために国際的に協調して行われる活動・・・を行うことができる**等々の改正をしている。

国際社会の平和のために子どもたちを戦場に行かせる内容である。このような改憲が公然とまかり通る時代に恐怖さえ感じる。

一隅を照らす 市民の声

この丸い地球で
「共に生きる」を考える。

暑い夏がやってきた、8月はかつて戦争をしていた日本があったことを、忘れないようにする時、生かされて生きている私たちが、どんな生き方をするかは、その一人一人に任されている。どんな人にも誰かと関わり支え合っている。平和に生きるために。ある人に「家族は仲良く協力して」と伺った。コミュニケーションとチームワークということだろう。



議会の出来事をブログ「きょう子の部屋」に書いています。是非、ご覧下さい。

きょう子の部屋
 パソコンで検索!!
 <http://kyoya5052.blog52.fc2.com>

駅頭報告



7月
23日(火) 大野町駅 いずれも7時～8時
24日(水) 榎戸駅 きょう子通信配布の
25日(木) 常滑駅 お手伝い募集中♪

Cafe de 情報交換



政治は皆さんの生活の一部です。かえるの会
皆様に政治に興味を持ってもらい意見を聞くための会です。気楽に参加してください。

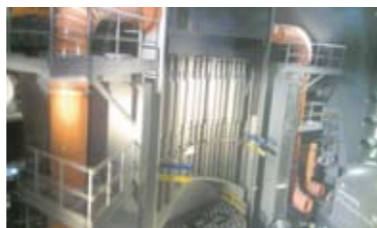
8月21日(水) 10時～ 大野町きょう屋
19時～ 中央公民館

フェイスブックもご活用できます

原発廃炉に30年間を要する

昭和63年に建設された浜岡原発施設を見学。約3万3千人の人口であるが、国からの補助金のせいか施設は充実していて、町がとても綺麗であった。

展望台から発電所を見ながらの見学であったが、重要施設でありテロ等へのセキュリティ確保のため写真撮影はお断りであった。



1から5号機ある中、1号機、2号機は老朽化のため廃炉とするが、その取り壊しのためには30年かかるそうだ。現在燃料の移動中という。津波対策のために、発電所周圍の海岸線に海拔22から24メートルもの堤防を作ったり、浸水防止対策、電源確保策など、国の方針に従って計画をしているという。原発が本当に必要かどうか今一度考えてみよう。

お知らせ

9月議会 9月2日(月)～10月10日(木)
一般質問 9月3日(火)・4日(水)
決算委員会 9月24日・27日
10月2日・7日

きょう子通信

2013年7月
No.27



井上きょう子後援会 井上きょう子

ご意見 〒479-0866 常滑市大野町6-56(大野町きょう屋内)
ご相談は TEL/FAX:42-1307 E-mail:kyo-ya@infoseek.jp
ブログ 大野町きょう屋ホームページ内 <http://kyoya5052.blog52.fc2.com>

あなたはどんな街にしたいですか？



このところ、めんたいに続き8月にオープンするコストコも建設され、前島が賑やかになってきました。しかし常滑市の小さなお店にとって果たして活性化と言えるでしょうか。

常滑には他市町にはないやきもの、空港、古い町並み、海、新鮮な野菜、何よりも市民の自主的なイベントが多く頑張っていると思います。名古屋

屋から嫁いだ私にとってこの町は宝庫です。役所が何もやってくれないと愚痴をこぼす前に、自分が常滑市に何が出来るか、どんな街にしたいかご意見をいただきたいと思います。

来年には常滑市制60周年に向かい、特別記念事業には多くの応募があり2事業が選定され、これを機に横に手をつなぎ内外に常滑のPRをして、活性化した住みやすい常滑を目指しましょう!

FAX 43-1153 kyo-ya@infoseek.jp

知っていますか？ 広域ごみ処理場のゆくえ

3・11以降、政治に不信感を持ち、選挙に行かない層が増えてきたのではないだろうか。逃げて目を背けることは決して解決ならないどころか、税金の無駄遣いを見過ごしたり、次世代にツケを残したりすることになりかねない。国のことなので私には関係ないと思っていないだろうか。地方で行うことの多くは、国から決められることが沢山ある。

今回、国が人口約30万人(半田、常滑、武豊、美浜、南知多)に対し1か所にごみ焼却場を集約するという、すでに16年経過している計画について報告をする。



ごみ焼却施設想像図

ごみ焼却場建設費 165億円 20年間の維持管理費 162億円

平成9年【国(旧厚生省)】
「ごみ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドライン」を策定
各都道府県に対して「ごみ処理広域化計画」策定を指示
平成10年10月【愛知県】
「愛知県ごみ焼却処理広域化計画」の策定
平成11年度【半田、常滑、南知多、美浜、武豊】
「知多南部地域ごみ処理ブロック会議」の設立
平成19年度 建設候補地を半田市クリーンセンタ

一の敷地内にすることを決定
平成22年 建設予定地から鉛が検出される
平成24年 ダイオキシンが乙川より検出される
平成25年 代替候補地を4か所に絞り込む。
法律に基づき作られた「最終処分場跡地地形質変更に係る施行ガイドライン」を無視して半田市クリーンセンターに決定させていたことが発覚。
25年度中に現建設予定地及び代替候補地4か所の計5か所を総合的に評価し選定する。

広域でごみ焼却場建設をする第一目的！
「環境への負荷、施設建設及び運営コスト等の縮減を図る」

この目的を二の次にし、建設ありきの計画がこのような不祥事が起きた原因ではないか。業者任せの行政、議会の怠慢から起こったことであり、慙愧の念に堪えません。